

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">文化財科学実習</p>	<p>対象学科・学年 文学部文財3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">広岡 公夫</p>
<p>授業テーマ 考古学・文化財学に関する自然科学的取り扱いの基礎</p>		
<p>授業の概要と目標 統計学の初歩や文化財の自然科学的取り扱いの基礎について、解説講義・実習・実験を行う。</p>		
<p>評価方法 実習のレポート、出席状況等を加味して総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト なし</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書 考古学のための年代測定法入門 博物館実習マニュアル</p>	<p>著者 長友恒人 編 博物館講座協議会編</p>	<p>出版社 古今書院 芙蓉書房出版</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1～15. 統計学の初歩 (平均・標準偏差・最小2乗法、他)</p> <p>16～20. ステレオ投影法 (ステレオネットを用いた3次元の事象の2次元への投影)</p> <p>21～25. 考古地磁気学と残留磁化獲得メカニズム (堆積残留磁化の模擬実験・残留磁化測定とデータ処理、他)</p> <p>26～30. 地震学の基礎と震源・震央の決定法 (震度とマグニチュード・P波初動による震央決定・P-S 走時による震央決定・水平動初動方向による震央の決定、水平動最大振幅によるマグニチュードの決定、他)</p>		